

平成27年度第3回
荒川区子ども・子育て会議議事要録

日時：平成28年3月16日（水）午後1時30分～3時30分
会場：あらかわエコセンター 2階環境研修室

伊藤子育て支援課長 それでは、定刻となりましたので、ただいまより平成27年度第3回荒川区子ども・子育て会議を開催いたします。

ご多忙な中、第1期に引き続き、第2期の会議の委員にご就任いただきましたこと、また、本日まで出席いただきましたこと、まことにありがとうございます。

私は、会長選出までの進行を努めさせていただきます子育て支援課長の伊藤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

初めに、会議の開催に当たりまして、副区長北川嘉昭よりご挨拶を申し上げます。

(副区長挨拶)

伊藤子育て支援課長 ありがとうございます。

次に、荒川区子ども・子育て会議委員の委嘱でございます。時間の関係もございますので、名簿の配付をもってかえさせていただきます。委嘱状につきましては、机の上に置かせていただいておりますので、後ほどご確認ください。

続きまして、配付資料を確認いたします。

(事務局より、配布資料について説明)

それでは、各委員の皆様をご紹介します。

(委員毎に自己紹介)

議事要録作成のため、本日の会議を録音いたします。議事要録につきましては、委員の皆様にご確認をいただいた後、会議資料とともに区のホームページに掲載いたしますので、ご了承ください。

続きまして、会長及び副会長の選任に移りたいと思います。

(委員からの推薦により、会長に丸島委員、副会長に長島委員が選任。以降、会長により進行)

丸島会長 それでは、荒川区子ども・子育て会議運営要綱に基づきまして、本会議は傍聴を許可しております。傍聴人がいらっしゃれば、入場させたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、お願いします。

(傍聴人入場)

丸島会長 まず、この会議の趣旨、運営等についてということで、資料に基づきまして、事務局より説明をお願いします。

(事務局より、【資料2】及び【資料3】について説明)

丸島会長 ありがとうございます。

それでは、議事に入りたいと思います。

まず、議事1、平成28年度の荒川区の主な子ども・子育て支援施策について、事務局より説明をお願いします。

(事務局より、【資料4】について説明)

丸島会長 それでは、議事1、平成28年度荒川区の主な子ども・子育て支援施策について、何かございましたら、挙手の上、ご質問をお願いいたします。

恵美須委員 5番の乳幼児ショートステイについて、平成28年度は210万円という予算をつけていただいています。1歳未満を乳児という法律の用語に従うと、私どもがやっていますボランティア活動の対象にしているお母さんたちに該当しますが、本当に困っているお母さんは、保護者の疾病、育児の疲れなど自分でおっしゃることができません。日赤の乳児院を活用するのでしょうか。

木村子ども家庭支援センター所長 日赤の乳児院でショートステイをお願いしています。

恵美須委員 日赤の乳児院は荒川区にはないですね。

木村子ども家庭支援センター所長 場所は渋谷区の広尾になります。

恵美須委員 そこに病気のお母さんが子どもを連れていけるはずはないと思ったのですが、迎えに来ていただくこともできますか。また、1歳未満というと、人見知りをして、子どもがとても親から離れられないし、親も病気で人に預けても気が気ではなく、また病気が重くなってしまうというのが現実ではないかと思います。お母さんは具合が悪いので何もできていないと思うので、そこに行って支援してあげるというシステムを使うということはできないのでしょうか。

木村子ども家庭支援センター所長 乳幼児ショートステイを実施する背景ですが、児童虐待はいまだにとまらず、どんどん増えております。毎年、厚生労働省で児童虐待の死亡事例についての公表されていますが、0歳、1歳、2歳で7割近くを占めてございます。0歳、1歳の乳幼児ショートステイの実施が課題となっていました。もちろん区内にあればそれにこしたことはなかったわけですが、24時間体制で0歳、1歳を見ていただくと

ころは皆無で、応じていただけたのが日赤乳児院だけでした。

病気の子どもを渋谷の日赤まで連れていけるのかということにつきましても、おっしゃるとおりだと思っております。一方で病気の子どもだけではなくて、お母さん自身に休養が必要な方も非常に多くございます。

区としましては、子どもの命を守るのが第一だということで、この乳幼児ショートステイを実施しようと考えた次第でございます。

恵美須委員 わかりました。ありがとうございます。数日に及ぶ預かりは絶対はないといけないと思いますので、それをぜひやっていけるようになることは大賛成です。

虐待が増えてきているのも、虐待に近い人が、表に出ることができるようになってきているので、これは決して数がふえているから悪いということではなくて、荒川区はそういうことが未然に防げるような現象をたくさんつかまえている成果というふうに私は考えてもいいかなと思います。もちろん虐待の結果になってしまう前に何かするということが大事なので、軽微なうちに対処するほうにお金を使うほうがより有効です。私どもはボランティアでやっていますので、ボランティアが少ないことが大変悩みでもありますが、結構、活動がわかってしまえば、お母さんたちは身近で利用して、早いうちに手だてをするという方向であればお金もかからないし、お母さんにもとてもいい結果が得られるので、広報し、知ってもらおうということに力を入れて、すぐ助けてもらえるということをこれからもお願いしたいと思います。

丸島会長 ほかに何かございますでしょうか。

続きまして、議事2、荒川区の保育定員と平成28年4月の認可保育所の入所申込数について、事務局より説明をお願いします。

(事務局より、【資料5】について説明)

丸島会長 不承諾につきまして、特別な理由による不承諾の方もいらっしゃるのでしょうか。

上田保育課長 この中には、育休を延長される方、不承諾をもともと希望されている方、または保育園が決まったら仕事を探そうと思っている方なども含まれております。この中から二次審査で保育園に入れる方もいらっしゃいます。それから、認証保育所や保育ママさんに決定される方もいらっしゃいますので、最終的な待機児童という数字ではなく、待機児童としてはまだ408からかなり減ると考えています。

香川委員 荒川区の保育定員について、平成27年は46.2%で、平成28年、29年に新しい保育所ができるということですが、全都においてどのくらいの位置にいるのか、わかりますか。

上田保育課長 先ほど申し上げた46.2%という数字は23区で荒川区が一番高く、人

口に対する保育定員の比率は千代田区に次いで2番目に多く、23区の中ではかなり定員は多いところでございます。

また、保育の利用率は、23区の中で一番多くなっております。待機児童の数は、昨年48人ということで、23区の中では4番目に少ない区になっております。

香川委員 ありがとうございます。

丸島会長 続きまして、議事3、平成28年度の学童クラブの利用申請数について、説明をお願いします。

(事務局より、【資料6】について説明)

丸島会長 ただいまの資料6、平成28年度の学童クラブの利用申請数について、質問等あれば、挙手をお願いいたします。

ないようですので、それでは、最後に、お手元に配付していただいた就学前教育プログラムの冊子について、説明をお願いします。

(事務局より、【参考資料2】について説明)

丸島会長 この冊子に関する何かご質問等ございましたら、挙手をお願いします。

高橋委員 私もすばらしい内容だと考えております。例えば、これを区内の保育士関係の方に配るとするのは当然だと思いますが、保育の学生も購入できるのかを伺いたいです。

上田保育課長 実際に幾らにするかという問題もありますけれども、無償で配布するか、もしくは価格を設定するかなども含めて、いろんな可能性を探りながら検討してまいりたいと思います。

丸島会長 ありがとうございます。

それでは、最後に事務局で何かございましたら、また伺います。瀬川委員から御意見あるいは御質問などよろしく願いいたします。

瀬川委員 先週の研修日に職場の保育士と一緒に参加したのですが、そのときに保育士が、「先生、これは本当に現場で生かせる本ですよ」と言って、ぜひみんなで勉強しましょうというくらいにすごくいいものできたなと話していました。荒川区は子育てに対して、本気だという思いがしました。その中で、自分自身も保育士としても、設置者としても育てていただいたなと思っています。

今回、保育従事職員等への宿舍借り上げ支援というのがあります。荒川区で就職してよかったと思えるような、一つ一つの頑張っている職場がこういう会を通して意識が高まっていけばいいと思いました。今回も会議に参加させていただくと、職場にこんな話が出たよと話ができるので、ありがたいと思っております。

丸島会長 ありがとうございます。

大駒委員、よろしく願いいたします。

大駒委員 私が一番うれしかったのは、「日経DUAL」に荒川区が第1位の最高評価をいただいたということです。

また、「わくわく えがお 荒川の子」の乳児グループで、区立保育園だけではなく、認証保育園の園長先生をはじめ、幼稚園の先生たちと一緒に参加させていただき、本当に誇れる教育プログラムを作成できたことを感謝申し上げたいと思います。

丸島会長 ありがとうございます。

糸原委員、よろしく願いいたします。

糸原委員 先ほど子ども・子育て支援について、教育委員会からご説明をいただいたところですが、幼稚園では、特別支援補助員を配置していただいております。教育センターから臨床心理士が来て、子どもたちの指導に当たり、助言もしていただいているところです。ただ、補助員の予算をつけていただいても、資格のある方、また、その条件に見合っ

て働こうと考えてくださる方が今、見つからないという厳しい現状があります。

丸島会長 ありがとうございます。

千田委員、よろしく願いいたします。

千田委員 荒川区には私立幼稚園等が5園あることを申し上げましたけど、新しい幼稚園が平成29年4月から開園予定ということで、東京都私立幼稚園連合会では、荒川区は私立幼稚園を受け入れるということについて、本当に前向きなのと言われたことがありました。実際に、区外に流出している幼児がたくさんいるため、それを荒川区内で受け入れられれば大歓迎と他の園の会員の皆さんにも説明申し上げました。園の名前はもう決まっているのでしょうか。

伊藤子育て支援課長 まだ仮称でございますが、「友の季ひまわり幼稚園」になる予定です。

丸島会長 ありがとうございます。

高橋委員、よろしく願いいたします。

高橋委員 保育園の待機児の問題について、荒川区は国より先に対応を始めていたと思います。かなり早い時期からやっていたので、23区内では非常にすばらしい位置にいるのではないかと思います。しかし、人口は、これから10年、20年のスパンで減ってくるわけですから、そのときの対応を行政としては、先の見通しを考えていただきたいと思っております。

それから、今年度の不承諾数から考えると、待機児童数はどのくらいを考えているか教えていただければと思っています。

上田保育課長 待機児童数については、今の状況でいくと、100人を超える可能性もあります。昨年48人からは相当数増えるのではないかと予測をしているところでござい

ます。

高橋委員 わかりました。

丸島会長 渡辺委員、よろしくお願いいたします。

渡辺委員 荒川区は、すごく協力して待機児童が少なくなっていることは感謝いたしますが、保育士不足や保護者等々の問題があって、私たちは子どもの大切な命をお預かりし、命の触れ合いがあり、お互いに愛の成長が出てくると思いながらも、職員が最近大変な世界に入ったと思います。確かに保育士の人材募集を頼みますと、今までは手数料が10%だったのが20%、最近では30%と手数料がだんだん高くなっているのが現状です。

丸島会長 ありがとうございます。

高橋委員、先生のところは保育士と幼稚園教諭を養成していらっしゃると思いますが、就職その他に関して特別何か昨今の状態というのはございますか。

高橋委員 保育士として来てほしいという求人は、卒業生の約10倍になっています。私たちが運営している学童クラブ等でも十分に補えないということが起こってきています。依頼すると、時間給にして倍以上になるということ、しかも続かず、保育の力が足りない方は来ないという形になりますので、非常に困っております。

丸島会長 どこに行ってしまうのでしょうか。

高橋委員 90数%は全部保育園、幼稚園、一部が障害児施設です。一般の企業に入る方はほとんどいません。家庭に入る方が少しいらっしゃいます。

丸島会長 渡辺委員、そのような状態だそうです。

それでは、春田委員、よろしくお願いいたします。

春田委員 私は医師会ですので、予防接種や学童クラブ、幼稚園の園医などに協力させていただいております。ただ、最近では予防接種のほうはかなりいろんなものが出てきて、今年からはB型肝炎が10月から定期接種になります。また、インフルエンザがほかの区では乳幼児には無料でやっていますが、まだ荒川区では有料であります。子どもの人数が多い方は大変なので、予防接種の予算を幼稚園までの子どもに少し移行していただければ、かなりいいのではないかと思います。よろしくお願いいたします。

丸島会長 香川委員、よろしくお願いいたします。

香川委員 今、テレビや新聞に働きたいのに子どもを保育園に預けられない母親たちの怒りの声が出ていました。これはやはり日本全体で取り組まなくてはいけない問題だと出ていました。子育てというのはお互いさまで、親と家庭環境だけでなく、地域で思っていることが大事なんですね。豊島区では、自分のうちで食べられない子どもを呼んで、子ども食堂を運営していて、そういう親もいるということは、いろいろと考えさせられます。

丸島会長 ありがとうございます。

恵美須委員、よろしくお願いいたします。

恵美須委員 私は、荒川区就学前教育プログラムの冊子を拝見し、保育士あるいは幼稚

園の先生がご覧になるには、手軽でとても見やすいので、これを使うことが次の段階として大事だと思います。この冊子がどこに配られ、どのような使われ方をするのかということころはすごく大事なことだと思います。いろいろな使い方をうまく先導していただけるような活動をぜひお願いしたいということが1つあります。

それから、これは子ども目線で書いてあるんですね。子どもに接しているのは親であり、子どもの問題には親が全て関わっているのだから、親目線の冊子も将来的には考えていただきたいです。やはり子どもが幸せになるということは、親が幸せでないと、絶対にあり得ません。できるだけ親をどうやってサポートするかということころも、次の段階で考えていただけると、とてもうれしいと思います。

丸島会長 ありがとうございます。

藤間委員、よろしくお願いいたします。

藤間委員 就学前教育プログラムの冊子を本当に活用していただいて、幼稚園や保育園の先生が子どもたちにとってすてきな教育をしていただければいいと思いました。特に今、私の子どもが通っている幼稚園や保育園にも新任の先生が配属されることが多いので、こういった指標があることで、新しく入った先生にも戸惑いを少しでも解消して子どもたちに還元してもらえればうれしいと思いました。

あと、私も5、6年前、待機児童になりまして、荒川区のホームページから区に投稿したことがあります。保育課から誠実な回答をいただき、納得し、また選ぶ職場にも託児所がありましたので、そこに預けながらも今後どうしていこうか模索しながら働くことができました。しかし、やはりそういう声を保護者も届けることが必要であり、一つの行為としてはいいと思います。5年前は町屋地区に保育園をつくるのは難しいという回答をいただいていたのですが、この数年で町屋地区にも新しく保育園も建て直していただき、今度は幼稚園をつくっていただくなど、年々荒川区全体が子どもにとって、親にとってという考えを持ち、時代にに応じてくれていることをすごく感じております。

丸島会長 ありがとうございます。

荒巻委員、よろしくお願いいたします。

荒巻委員 学童やにこにこすくーるについては、親として助かる制度だと感じております。また、今回、保育園のお話をたくさん聞かせていただきましたが、私は幼稚園とこども園の保護者代表として参加させていただいていて、区立幼稚園の予算や問題点なども改善していきたいと思っています。ぜひ話の中に入れていただけたらと思っています。

丸島会長 ありがとうございます。

麻生委員、よろしくお願いいたします。

麻生委員 学童クラブの充実ということで、午前8時15分からの制度についてですが、学童クラブを利用している子どもは、ほとんど保育園から来ている子どもです。保育園は朝7時ぐらいから見ていただけるので、特に低学年、1年生、2年生の子が保育園を卒園

し、学童の夏休みに、朝8時15分からでないと言われないと困ってしまう親はいるかと思います。現に私も子どもに鍵を渡して時間になったら学童に行ってねというのが怖くて言えなかったです。鍵が刺さったままだったこともあり、1年生の子はこの間まで保育園だったので、心配をしながら、どうにか4年生まで来ました。保育園でかっていたニーズが学童においても少しでも、特に低学年に関しては何か反映していただけたらと思います。

丸島会長 ありがとうございます。

伊藤委員、よろしく願いいたします。

伊藤委員 私は、5歳と2歳の子どもがいますが、就学前教育プログラムができ、ぜひ自分の子どものところをじっくり読んでみたいと思いました。

それと、2歳の子は在宅で育児をしているのですが、ほかの子と比較する機会が少なく、保育園の子は集団生活に入っているのも、特に1人目の子のときはすごく不安を抱えていました。小さい子のお母さんはこういうことを求めていると思うので、ぜひ在宅で育児している人にも配ってもらいたいと思いました。

丸島会長 川出委員、よろしく願いいたします。

川出委員 子どもの居場所づくりというところで、実際に、荒川区内で学習支援を行っている社会人や大学生、子ども食堂を運営されている方、また、その場所を提供されている方とよくお会いしてお話する機会があります。その方たちは自分たちの子育ては終わっていて、子育ての当事者でない地域の方が地域の子どものために活動をするというエネルギーはすごいと思います。でも自分たちの財力だけではやはり難しいので、区が助成してくれることや居場所をさらにふやすことに努めるということをお聞きでき、とても安心しました。

丸島会長 ありがとうございます。

副区長から、一言よろしく願いいたします。

北川委員 まず、学童クラブの開始時間の問題ですが、私どももすごく重要視しています。ただ、学童は職員の数が少ないので、時間をふやすと、職員の確保をどうするかという問題が出てきます。毎日開くとなると、ローテーションを組む必要があり、どのぐらいの人数が要るかなど、いろんな事情があることもご理解いただければと思っております。

それから、乳幼児のショートステイについては、荒川区近隣の病院や乳児院など至るところを全部当たったのですが、全部断られてしまっていて、最後に残ったのが広尾だったという状況です。子育て中の保護者への支援をショートステイだけで全て対応するのは無理な話なため、サービスの選択肢をふやしていくことが、これから大事だと思っています。

それから、地域力というのは、子ども食堂や、子ども向けの教育など、いろんな形でのボランティアの方たちがたくさんいらしています。そのような方々にもっといろんな形による支援をいただきたいと思っておりますので、子どもの居場所づくりは、いろんなバリ

ーションがあつていいと思います。いろんな形で子どもの居場所づくりを身近な場所で展開していくことは大事だと思っておりますので、積極的に、ご相談いただければと思います。

また、防犯についても、地域の目というのは大事だと思います。地域でみんなが見守ってくれるような形をどうやってつくれるのかということが大切であります。

丸島会長 ありがとうございます。

事務局のまとめという形で、青山部長、よろしく願いいたします。

青山子育て支援部長 私のほうから申し上げたいのは、あらかわ遊園についてでありまして、実はリニューアルされてから25年以上たつてございます。もう少し新しい形で変えていきたなと思っております、隣接する旧小台橋小学校、東側の保育園を建て替えたいと思っております。それに合わせて校舎を解体し、残った敷地をあらかわ遊園の拡張や保育園の建て替えという形で活用していきたいと考えてございます。子育て支援施設として有効な、また魅力ある施設にしていまいたく、皆様方からもいろんなアドバイスを引き続きいただければと考えております。

丸島会長 ありがとうございます。

それでは本日のまとめという形を含めまして、長島副会長、よろしく願いいたします。

長島副会長 区報2月21日号の世論調査の結果を見ると、お子さんがいらっしゃる方の中では、子育て支援の充実が一番比率が高く、この会議の重要性というのを再認識させられたところです。

それで、保育所の入所申込者や希望者がこれからも増えていくと思いますが、保育士の確保はやはり大きな課題であるということ再認識させられました。

私は大学の教育学部にいるため、中高、それから小学校の教員養成については、どんな課題があり、どういう施策を講じなければいけないか、保育士や幼稚園教諭の養成や確保などについては一体どうなっているかということを改めて勉強してみようと思いました。

そして、今、小、中、高校では、学習指導要領の改定が進んでいて、それに合わせて大学では、大学入試改革が平成30年ぐらいに大きな課題としてあるわけです。これから何十年か経ち、今の時代が転換期だったのではないかと見られるかもしれません。子育てについても、いろんな人たちが声を上げ始めたという状況があり、後から振り返って、この時代が転換期だったと見られるような、一層の充実といったものにつながっていければいいと感じました。

丸島会長 ありがとうございます。

教育委員会阿部部長、よろしく願いします。

阿部教育部長 すみません。教育委員会で少し情報提供をさせていただきたいと思いません。

公立幼稚園においては、幼児期からの芸術教育を南千住第二幼稚園で東京藝術大学との

連携で実施しており、本年度は町屋幼稚園でも実施したところです。これから芸術教育を充実していこう、また広げていきたいと考えています。

それから、内扉のオートロックと機械警備を入れ、幼稚園の防犯対策の整備を行ったところでございます。

ワールドスクールについて、小学校6年生を対象にしているところ、来年度については、中学生を対象にいたしまして、秋田市の大変質の高い英語教育プログラムを実施している国際教養大学に中学生を派遣し学んでもらい、加えて、全国連携の関係で秋田県の郷土芸能や風土等を学んでもらう予定です。

教育委員会といたしましては、こういった活動を引き続き進め、教育力の向上を目指してまいりたいと考えてございます。

丸島会長 それでは、最後になりますが、事務局から、今後の日程等、ご説明をお願いします。

伊藤子育て支援課長 本日はいろいろなご意見、また、お褒めいただくような言葉もいただきまして、まことにありがとうございました。

今後の日程でございますが、次回の日程は、年度が改まりまして、6月ごろを予定しており、年3回の開催を考えております。そのときには、平成28年度の保育園、幼稚園の状況についてご報告できるのではないかと思います。

学校におきましては、学童やにこにこすくーるの状況についてもご報告いたします。

本日はどうもありがとうございました。

丸島会長 ありがとうございます。

それでは、これもちまして、平成27年度第3回荒川区子ども・子育て会議を終了いたします。ご協力ありがとうございました。